



広 報

<http://www.cs.town.gojome.akita.jp/gojome/yakuba/index.htm>

平成16年

7月

No.840

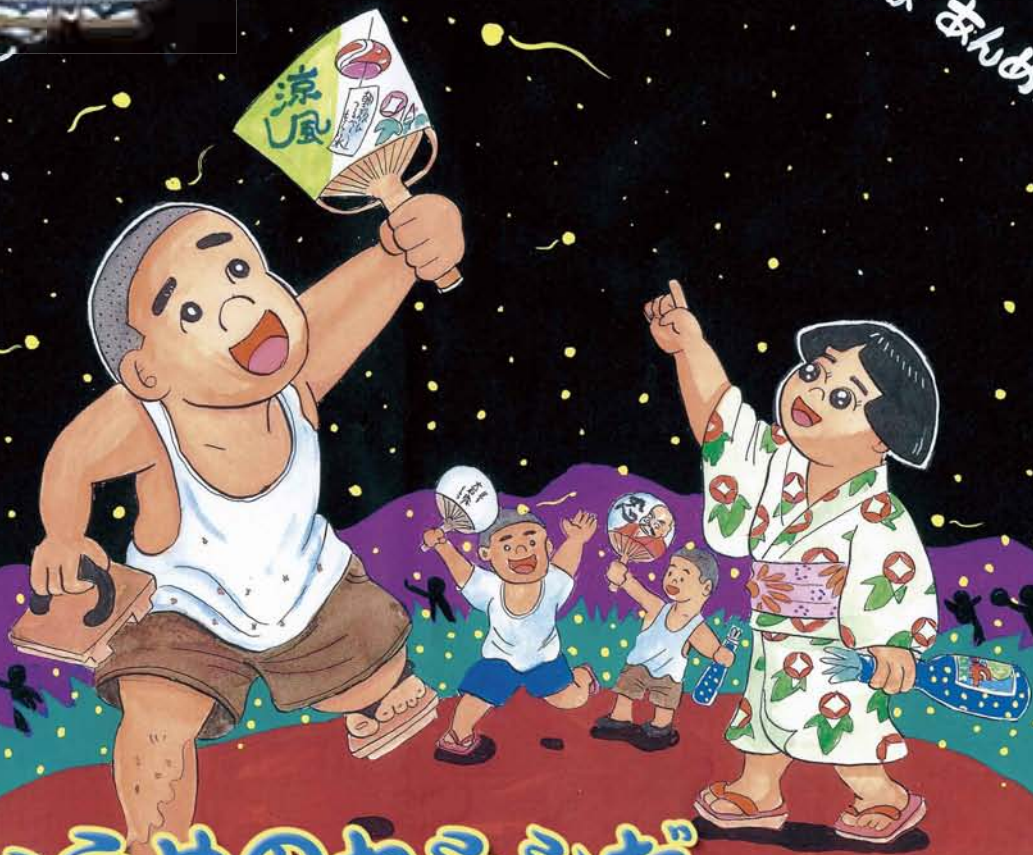
# ごじょうめ

いっしょに  
あそぼう  
まはる  
大石



のみんなにんぎやまど こっちのみんなは あんめやまど

ほっほっほたら



## ごじょうめのわらしだ 100回記念プレゼント!

広報ごじょうめ人気コーナー「ごじょうめのわらしだ」が今月号でめでたく100回を迎えました。これを記念してご愛読いただいている皆さんに大石清美さんが描いた今月号の表紙の原画(1名)とその絵を使った手作りうちわ(3名)をプレゼント。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号と右のクイズの答えを記入して応募してください。

### 五城目弁クイズ

『しゃばんえだでたまなはず。』

の意味をお答えください。

応募先/〒018-1792 五城目町役場総務課  
100回記念プレゼント係

締め切り/7月15日(木)(当日消印有効)

※応募はハガキでのみ受け付けます。  
※お一人様何通でも応募できます。  
※正解者多数の場合は抽選で当選者を決定します。  
※当選者は広報ごじょうめ8月号で発表します。



朝市と城のある町

うちわの裏面



このうちわで  
暑〜い夏を  
のりきってネ

連載1回目のイラスト



平成8年4月号からスタートした広報ごじょうめの人気コーナー「なつかしのごじょうめのわらしだ」が、今月号でめでたく100回目の掲載を迎えました。

昔なつかしい子どもたちの遊びや駄菓子屋で売っていたお菓子、稲刈りやお祭りなどの古い風習などが、楽しい漫画と五城目弁で描かれる「ごじょうめのわらしだ」。

「そうそう、こんなことしてた」「へえ、昔はこうだったんだ」と思い出がよみがえったり新たな発見があったりと、いつも楽しい話題を提供してくれますが、広報が配布される町内だけでなく、県内外でも大人気です。

今月号では、100回記念として作者の大石清美さんと「ごじょうめのわらしだ」をご紹介します。



**大石清美** (おおいし・きよみ) さん  
ごじょうめのわらしだの生みの親で育ての親。  
河辺町で印刷のお仕事をしながら  
ラジオ番組にもレギュラー出演されています。



# ごじょうめのわらしだ

## 連載100回記念作者大石清美さんに聞く

山内に生まれ、小さい頃は紙と鉛筆さえあれば絵を描いて遊んでいたという大石清美さんは、ギャグ漫画が大好きな少年だったそうです。おこづかいを貰うと五十銭で売っていた西洋紙を買い込み、色鉛筆で漫画の表紙絵を模写していたといいます。

中学生になるとますます漫画好きになったそう。「手塚治虫の真似をしようと学生帽のツバを切り取り、ペレー帽のようにしてかぶって漫画を描いていたこともあった」と当時を振り返ります。

「高校時代は毎日渡辺五松堂さんに入り浸っては、漫画や小説、文芸誌を読みあさる勉強嫌いな学生だった」と話す大石さん。「漫画を初めて描いたのもこのころだったなあ」となつかしそうに話します。

高校卒業後、ものを書く仕事があったいと東京の印刷会社に就職。その後、秋田にもどり、印刷会社を転々としたあと現在の河辺町で印刷会社を開業。息子さんが生まれた二十五歳頃から、何気なく思い出した昔のことを絵にしはじめたそうです。

そうして描きためた絵のなかで「アイスキャンデー」について描いた絵が秋山三男さんの目にとまり、秋山さんの勧めで平成八年、五城館で個展を開催。個展は大好評で、これを聞きつけた当時広報担当の柏和順さんが大石さんに作品の広報掲載を依頼。大石さんと意気投合し、平成八年四月号から「なつかしのごじょうめのわらしだ」の連載が始まりました。

これまで「昔の風習」「こどもの遊び」「おもちゃの作り方」「駄菓子屋で売っているもの」などのなつかしいシリーズ漫画を描いては読者を魅了してきた大石さん。百回の掲載を迎えたことについて

「話がとぎれずよくつづがったなあと思う。」



秋山三男さん

大石さんが初めて個展を開くきっかけをつくった

ごじょうめのわらしだ百回目。そうなったべなあと思いましたが。これに飽きたらず、益々頑張ってください。



黒崎一紀さん

大石さんが出演するラジオ、FM樺台(79.6MHz)の局長さんで「わらしだファン」

わらしだの懐かしさには地域の違いはありません。健康に気を付けてこれからも頑張ってください。ラジオも二百回の放送をめざしましょう。



柏和順さん

広報ごじょうめに「ごじょうめのわらしだ」の掲載を依頼

広報の中身よりも大石さんのイラストの方が有名でした。(笑)だから負けないように中身を作ろうと思ってきました。今後は、あまり頑張りすぎないように頑張ってください。



小玉星子さん

大石さんが昔の女の子の遊びを描くときにアドバイス

よく忘れずに覚えてるもんだなあと感じます。あたまねじるの大変だべどもこれからも続けてもらいたいです。

# ごじょうめのわらしだのこしゃりがだ



3 下書きができたならペン入れ。にじまない証券用インクを使い丁寧に仕上げていきます。



4 最後に色塗り。水性カラーペンを水で溶き、いろんな種類の筆を使って一気に塗ります。



5 完成です。こうして今号100回目の「ごじょうめのわらしだ」が出来上がりました。



1 本業の合間をみて、古い写真がのった本などを眺めながら、記憶を呼び戻し、漫画のタイトルを考えます。タイトルが浮かんだら、内容を考え、資料を見たり、地元のばばがだ(お婆さんたち)や、おが(母)、しゃで(弟)に相談して内容を確認します。



2 描く内容が決まったら、説明文と絵を考えます。文章に使用する五城目弁が正しいか、秋田の方言辞典などを確認しながら下書きを進めます。



現在制作中の秋田弁カルタ

何を描くが、ながなが思い浮かばねやじぎもあつたども、とりあえずペンを握るとちっちゃい頃のことが次々と浮かんでくるので続けられてると思います」と話します。

大石さんは二年前からFM樺台のラジオ番組に出演し、ごじょうめのわらしだ同様なかなかいい話題を提供。

同局の黒崎一紀さんは「大石さんは並はずれた記憶力と才能を持ち合わせた人。話は地域を越えて楽しめるから人気です。大石さんは現代の語り部です」と話します。

現在、大石さんは、印刷の仕事、ごじょうめのわらしだ、ラジオ出演と多方面で活躍しながらも、手作りで秋田弁のカルタを製作中。「とる人も難しいが読む人も難しいカルタになると思う」と話します。

自由奔放に育ててくれた両親と、いたずらしても優しく見守ってくれたさんねや(山内)の皆さんに感謝したいと話す大石さん。「ごじょうめのわらしだは生涯描き続けていきたい」と笑顔で語ってくれました。

# 「この手から 広がれ緑 豊かな未来」



## 第41回 全町植樹祭を 開催しました

### 緑の少年団 作文コンクールに 入選されたみなさん

#### ◎ 小学校の部

##### 《最優秀賞》

「未来へのおくりもの」

川口依子さん

(五城目小6年)

##### 《優秀賞》

「緑の宝物」

佐々木陽香さん

(杉沢小6年)

「大切な緑」

浅野沙希さん(大川小6年)

#### ◎ 中学校の部

##### 《最優秀賞》

「消ゆる緑にできること」

合田千紘さん

(五城目一中3年)

##### 《優秀賞》

「緑への思い」

猿田和恵さん

(五城目一中3年)

「自然を守る世の中へ」

継田愛里さん

(五城目一中3年)

『この手から 広がれ緑 豊かな未来』をテーマに、第四十一回全町植樹祭と林野火災防止懇談会が、六月八日町民センターと馬場目川河川敷(磯ノ目大橋～西野橋)で開催されました。

全町植樹祭は、先人たちが築いてきた緑を守り、森林づくりを進めて次の世代に豊かな森を引き継ごうと毎年開催されています。

今年は、町内の緑の少年団や林業関係者など約二百人が参加し、馬場目川河川敷にツツジ百本を補植しました。

町民センターでは、植樹に先立って緑の少年団作文コンクールに入賞されたみなさんの表彰式、最優秀作品の発表が行われました。また、『燃やすまい 国の宝だ 緑の資源』をテーマに林野火災防止懇談会も開催されました。



二十一世紀後半には、熱帯林がなくなると。

今、私たちが住んでいる地球の中で、最も必要とされる自然が失われようとしています。四十六億年もかけてきずき上げた地球の宝物が、人間の手でこわされていく。大げさなことではないのです。

自然は、人間や生き物にとって、大切な働きをしています。木や草花の緑は二酸化炭素をすいこみ、代わりに酸素をはき出してくれます。だから、私たちはきれいな空気を吸うことができるのです。動物たちだって、緑の宝庫である、森がないと生きていけません。

自分たちの便利な生活のために、緑をはいし、どんどん環境を変えていっています。私たち人間は、遠回しに、自分たちの「仲間」を苦しめているのです。そして、長い年月をかけてきずき上げた環境をたつたの数千年で失い、自分たちも苦しめようとしているのです。そんな、緑の宝庫「森」がなくなる理由は二つあります。

一つ目は、人間が紙などのパルプを使った製品を作るために、次々と木を切り倒していることです。世界遺産の白神山地だって、今では、人工林がどんどん増えてきています。特に、日本は、インドネシアの森林を切り倒し、木材を輸入し、海外の環境にもえいきょうを与えています。このままでは、全ての木々が人

工林になってしまつかもしれない。また、その人工林が育つのも、長い年月がかかります。

二つ目は、酸性雨です。車の排気ガスなどが空にたまって、雨と一緒にふり出すのです。そのせいで、木はかれています。

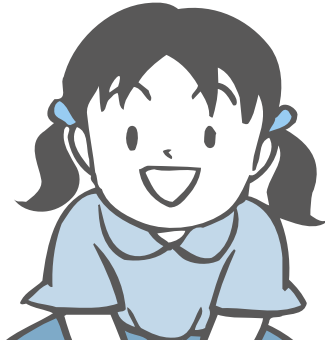
この様に、木は次々と消えていっているのです。このまま消えていってしまう木々を見過ごしていいのでしょうか。少しでもいいから、私たちにできることはないのでしょうか。今、私たちが自然を守って

いかなないと、未来の地球は大変なことになるのは、私たち子供にだってわかります。現在、地球の自然を守るため、様々なボランティア活動が行われています。木を植えたり、その木の苗を買ったり、その木の苗を買うために募金したり。私は、そのボランティア活動にできるだけ参加して、少しでも自然が多くなるようにしたいです。

自然は未来へのおくりものです。便利な生活よりもずっと大切なものだと思います。そんな地球の宝物を、私たちの手で守っていきましょ。

### 未来へのおくりもの

五城目小学校 6年  
川口 依子

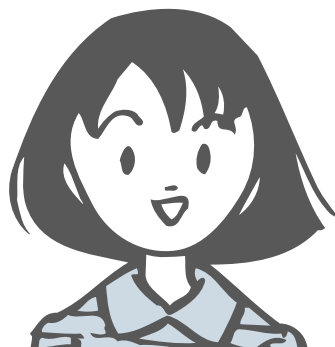


## 緑の少年団作文コンクール最優秀作品のご紹介

自然破壊、森林伐採、大気汚染。現代に生きる中学生の耳にはすでに退屈な響きでしかなくなっているのではないのでしょうか。森や林が人間にとって必要不可欠なことも、地球規模でその木々が減っていることも私達は知っています。でもそれはただ漠然と「知っている」だけなのです。

木々が減ることで私達は困ったり、苦労したことがあります。緑豊かなこの町にいては仕方ないことかもしれない。自然破壊の現場を見ることが無理があるのかもしれない。だとしてもこのままで良いのでしょうか。

消ゆる緑にできること  
五城目第一中学校 3年  
合田 千紘



先進国の消費する燃料や原料を売って生計を保っていました。土が貧しい地域の人は、森林を焼きはらい、後に残った灰を肥料に畑を作って、自分たちの生活に必要な作物を得ています。このような生活を送っている人に「木を切らないで下さい」と延々地球の環境問題について力説したとしてもそれは

きつと耳には入らないでしょう。その人々にとって木を切るという事は生きていく術だからです。長い期間、森を伐採し続けられれば間違いなく森はなくなるでしょう。それは私達もその人々も考えは同じだと思えます。では、その両者の異なる点は何なのかと考えてみました。それは経済的な豊か

さです。食べるもの、着るもの、自らが楽しむためのもの。恵まれた環境の中できれいな環境論を叫んだところで、生きていく術を自ら断つてくれるのでしょうか。この地球に人類が時を刻み始めてから、少しずつ、少しずつ様々な特色や文化が育まれてきました。地球の環境がどこも同じでないため、豊かな川の流域では文明が栄えました。技術や文化の発展を続けてきた所とそうでない所ができてしまつのはしょうがないことなのです。よく考えてみると環境問題なんだかんだと討論しているのは先進国だけのようない気もします。私が思うのは、環境問題についての知識や理解は持っているだけでは全く意味のないものだと感じます。

一般的にそれらの類のものはプラスとして生かすことができ、そのものであって、いつも一歩手前で足踏みをしているだけでは解決もしません。悪くすると、だんだん悪化していくかもしれません。緑に関してもその通りだと思えます。様々な人々が幸せな暮らしができて、緑もいきいきするようになる、そんな未来がくるといいですね。

木を原料に生産される紙をケナフという植物で作るといふ体験をしたことが私にはあります。木に比べて再生力も非常に強いということです。解決法が日夜考案されているのも確かですが、問題は私達の意識です。私達が本気で考え、努力することで緑は世界のほんの片隅から救われていくのではないのでしょうか。

# 6月議会定例会

平成16年度一般会計補正予算案など  
議案13件が可決・承認・同意



平成十六年第二回町議会定例会が、六月十四日から開催されました。初日の十四日は、佐藤町長から行政報告が行われ、十五日には町議会議員二人による一般質問が行われ、その後、議案が上程されました。

十六日、十七日には各常任委員会が開かれ、議案などについて審議し、本会議が十八日に再開され、「平成十六年度一般会計補正予算」、「助役の選任につき同意を求めることについて」など議案十三件が可決・承認・同意されました。

今月号では、定例議会初日に行われた、町長の行政報告を抜粋して紹介します。

## 新町の名称は

「湖東町(ことうちょう)」に決定

総務課

五城目町・八郎潟町・井川町合併協議会は平成十五年十一月十四日に第一回合併協議会が開催されてから現在まで、七回開催されています。

四月二十七日の第六回合併協議会で、合併期日を「平成十七年十月一日」とし、新町の名称は「湖東町(ことうちょう)」に決定しています。

平成十六年度の人事異動は、定年退職者六人、その他の退職者三人の九人に対し、新規採用職員二人で、前年度より六人の減です。職員数は百七十九人で、条例定数百九十三人に対し十四



人減です。また、嘱託、アルバイト、パートなどの人員削減にも努め、削減数は十人で、全体の適正化に努力しました。

## 公園施設などの遊具を

調査・点検しました

福祉保健課

全国各地で屋外型固定遊具での痛ましい事故が相次いで発生したことから、子どもの遊び場や学校など四十七か所百五十三基の遊具について、調査を実施しました。

その結果、一基の遊具の支柱に腐蝕が見られたため、修繕し、使用を開始しています。

また、安全確保に万全を期するために専門家の調査が必要と考え、町内す

への遊具の再点検を実施しました。

## 森林資料館五城目城で 写真展を開催

商工観光課

森林資料館五城目城の特別展を四月一日から開催しています。「日本の名城」と題しての写真展を開催していますが、五月末まで六百六十九人の入館があり、今後、さらに多くの方が訪れてくれるようPRします。(七月一日から草木染め作品展を開催)

## 堆肥製造拠点施設 富津内小への導入を断念

農 林 課

資源循環型農業の推進にともなう堆肥製造の拠点施設の導入について、統合により廃校となる富津内小学校の跡地利用などに関する要望書が、富津内地区町内会長会、PTAなど連名で提出されたことにはじまり、要望を受けて、利活用するという方向で検討する中で、中津又地域の落合、脇乙、高千、北北口の四町内会長連名による堆肥製造の拠点施設受け入れについての承諾を得て、さらに国の内示を受けて計画を進めてきました。しかし、四町内会長連名による堆肥製造施設の受け入れに対する承諾書が白紙撤回されたこと



から、中津又地域の総意を尊重し、富津内小学校への導入を断念することとしました。

このことから、事業量、事業費など、全体が変更となり、国、県との再協議が必要であり、これが整い次第、これまでのいろいろなご提言をも踏まえ、全体計画を新たに策定し、あらためて適切な時期に議会へ上程したいと考えています。

## 工期内完成をめざし 工事を進めます

建 設 課

工事の発注状況は、六月七日に道路区画線標示工事、樋口下樋口線舗装補修工事、浅見内滝ノ下線外二路線現道舗装工事、六郎沢旧県道線舗装補修工事、矢場崎下台線舗装新設工事がそれぞれ入札され、工期内完成をめざして現在工事を進めているところです。

また、今年二月二十一日から三月一日にかけて、気温の上昇と降雨により急激な雪融けが発生し、河川六か所の融雪災害が発生し、国へ申請していま

したが、六月九日に国の査定を受け、被災規模、査定額が決定しましたので、早急に復旧工事を実施するため準備を進めています。

## 火災や災害発生防止に なお一層努めます

消 防 本 部

昨年五月二十一日の建物火災以降、三百六十五日の無火災をめざし職員団員一丸となり火災予防に努めてきましたが、三月二十六日、三十日と続けて原野火災、林野火災が発生し、無火災が三百九日で途切れることとなりました。

今後は火災をはじめ、災害発生防止になお一層努めます。

## 教職員の信頼回復に 全力を尽くします

学 校 教 育 課

県内で相次ぎ発生した教員の不祥事について、町教育委員会では、五月二十五日、町内小・中学校全教職員を集め、

一人ひとりが事態の重大性を自覚し、事故防止に取り組み、教職員としての信頼回復に全力を尽くすよう周知徹底しました。

今後も教育委員の学校訪問や校長会など直接各学校へ出向く機会を活用し、組織を挙げて事故防止に継続して取り組みます。

## 十六年度一般特別会計 黒字決算の見込み

出 納 室

平成十五年度各会計の決算見込みは、現在計数の整理中ですが、一般会計では、歳入総額五十七億八千二百一十万円、歳出総額五十五億八千五百五十万円、差引残額一億九千六百九十七万円、平成十五年度繰越明許費のうち、翌年度へ繰り越すべき一般財源が七十二万円あり、これを差引くと、実質収支額は、一億九千六百二十五万円となる見込みです。一般会計、特別会計とも黒字決算が見込まれ、今後も財政運営の簡素化・効率化を進め、財政の健全化に努めます。

## 可決・承認・同意 された主な議案

### 平成16年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4,267万7,000円の追加補正。補正後の予算総額は57億4,628万9,000円。

主な補正内容

#### 歳 入

##### ●農林水産業費県補助金

……1,931万9,000円の増

(森林整備地域活動支援交付金事業に対する県からの補助金)

#### 歳 出

##### ●観 光 費

……499万9,000円の増

(きやどっこまつりの補助金)

##### ●林業振興費

……2,575万9,000円の増

(森林整備地域活動支援交付金事業の対象となる森林面積2,576㊦分の交付金)

### 助役の選任につき同意を求め ることについて

(7月16日に任期が満了する石井一夫助役を引き続き選任することに同意が得られました)

### 町固定資産評価審査委員会委員 の選任につき同意を求め ることについて

(6月30日に任期が満了する菊地徳一郎さん、石井良雄さん、草皆稔さんを引き続き選任することに同意が得られました)

# 参議院議員通常選挙の投票日は7月11日(日)



「わたしが決める明日の日本を託す人」

参議院議員通常選挙の投票が、七月十一日(日)に行われます。

この選挙は、参議院秋田県選出議員選挙、参議院比例代表選出議員選挙が同時に行われ、投票用紙が二枚になります。

また、投票所では投票終了時刻を繰り上げています。ご自分の投票所の投票時間を良くご確認のうえ、投票をお願いします。

## 投票できる方

昭和五十九年七月十二日以前に出生された方で、平成十六年三月二十三日以前から引き続き五城目町の住民基本台帳に登録されている方が投票できます。

- ※ただし、次の方は投票できません。
- ・公民権が停止されている方
- ・日本国籍の無い方

## 投票所入場券を郵送します

入場券は一選挙人に対し一通発送されています。選挙権などについて不明な点がある方は、選挙管理委員会にご連絡ください。

紛失された場合でも、その旨を伝えていただければ投票所へ入場できます。入場券に記載された投票所、投票時間をよくご確認ください。

## 投票の方法

秋田県選出議員選挙(薄黄色)立候補者の氏名を記載します。比例代表選出議員選挙(白色)届出政党名簿登載者の氏名または政党の名称を記載します。

## 期日前投票

投票日当日、仕事や行楽などのため投票所で投票できないと見込まれる方は、期日前投票で投票をお願いします。期日前投票は、次の期間中、休日をおかず毎日、指定の時間内で投票できます。

- 期間 六月二十五日(金)から七月十日(土)まで
- 時間 午前八時三十分から午後八時〇〇分まで

場所 役場三階 選挙管理委員会 ※投票所入場券をご持参ください。

## 投票所一覧

(投票時間は午前7時から午後7時までです)

五城目第1	今町・御蔵町・米沢町・築地町・畑町	築地町児童館
五城目第2	新畑町・東磯ノ目・西磯ノ目・矢場崎字七倉一六一一九と一六一二一	役場町民談話室
五城目第3	新町・一番町・古川町・紀久栄町小池町・川原町・長町・仲町	五城館 多目的ホール
五城目第4	広ケ野・希望ケ丘・田町・上田町	田町和合会館
五城目第5	下高崎・高崎・上高崎・館越・久保新里町	馬川交流センター
五城目第6	昭辰町・雀館・館町・中川原上樋口(上)・上樋口(下)樋口・岩城町・老人ホーム・広青苑	町民センター
森山	野田・岡本・浦横町	森山地区公民館集会所
馬場目第1	帝釈寺・町村・門前・蓬内台・小野台	ふれあいセンター 多目的ホール
馬場目第2	寺庭・中村・平ノ下・水沢	中村林業集 研修所
馬場目第3	恋地・坊井地	杉沢地区コミュニ ティセンター
馬場目第4	杉沢・合地	杉沢集会所
富津内第1	上山内・下山内	上山内公民館
富津内第2	富田・八田・台御蔵下・黒土・小倉	富津内地区公民館 研修室
富津内第3	脇乙・落合・高千・北北口	中津又地区 コミュニテイセン ター 多目的ホール
内川第1	湯ノ又・小川口	湯ノ又公民館
内川第2	浅見内	内川児童館
大川第1	大川・下樋口・曙町	大川多目的集会所
大川第2	石崎・西野・谷地中	西野公民館

注1) 馬場目第3、馬場目第4投票区は、午後6時00分に投票所が閉鎖しますのでご注意ください。

注2) 6月19日以降に、町内で転居された方は、転居前の投票区で投票することになります。



## 不在者投票

期日前投票は今までの不在者投票にかわる投票の仕方です。投票する手続きが簡単になり、原則として、選挙の日

に投票所で投票する手続きと同じです。ただし、次のような方は、従来の不在者投票の仕方

で投票することになります。

●病院、老人ホームなどの施設における不在者投票

●秋田県選挙管理委員会が指定する病院・施設に入所されている方

●施設内

●施設職員にお問い合せください。

●五城目町以外の市町村における不在者投票

●出張、旅行などの事情で、投票日当日、五城目町を離れている方

●滞在先の市町村選挙管理委員会

●不在者投票ができますので、早めに五城目町選挙管理委員会

●あてにお問い合せください。

## 町長の主な予定(7月)

- 1 / 南秋田郡連合婦人会大会 (広域五城目体育館 / 五P連教育懇談会 (五城館))
- 4 / 第15回秋田追分全国大会 (広域五城目体育館)
- 6 / 五城目町八郎潟町県道整備促進期成同盟会通常総会 (八郎潟町)
- 8 / 町金婚式 (ガーデン松竹) / 合併正副会長会議 (役場会議室)
- 9 / 県消防大会 (男鹿市)
- 12 / 社会を明るくする運動「朝市社明運動」(朝市会場)
- 13 / 第9回合併協議会 (井川町)
- 14 / 南秋田町長行政視察 (~16・和歌山県)
- 20 / 五城目高校教育振興会役員会 (グリーンロイヤル丸富)
- 22 / 合併正副会長会議 (役場会議室)
- 23 / 社協無料巡回相談および相談員研修会 (役場会議室)
- 26 / 県高速交通体系整備促進協議会総会 (秋田市)
- 28 / 第10回合併協議会 (役場会議室)

●郵便投票証明書をお持ちの方

●投票用紙の法定請求期限が七月七日(水)ですのでご注意ください。

※投票所は既存の施設を利用して関係係で、車イス用の記載台は配置してありません。車イスをご利用されている方は、役場で期日前投票されますことをお勧めします。役場正面に駐車し、エレベーターをご利用のうえ、選挙管理委員会室までお越しください。

## 即日開票

開票は、投票日の午後八時から役場二階の「正庁」で行います。参観は先着五十人までです。

参観の受付は、午後六時から、役場庁舎一階で行います。

※選挙に関するお問い合わせは五城目町選挙管理委員会・役場3階(☎852・5318 直通)まで  
※ただし夜間、休日は転送

# 選挙期日前の投票手続きが簡単に！「期日前投票制度」

公職選挙法の一部が改正され、「期日前投票制度」が創設されています。

これまで役場で行う不在者投票では、投票用紙を封筒に入れて外封筒に署名をする必要がありましたが、「期日前投票制度」により、その手続きがなくなり、投票用紙を直接投票箱に入れられるようになりました。

### ■対象となる投票

名簿登録地(五城目町)で行う投票

### ■投票できる方

投票日当日に、仕事・レジャー・入院などで、投票所に行く事ができないと見込まれる方  
※投票の前に「宣誓書」を記載していただきます

### ■投票期間

選挙公示日の翌日から投票日の前日まで  
※公示日は期日前投票も不在者投票もできません

### ■投票時間

午前8時30分から午後8時00分まで

■投票場所 役場3階 選挙管理委員会室

■持参するもの 投票所入場券

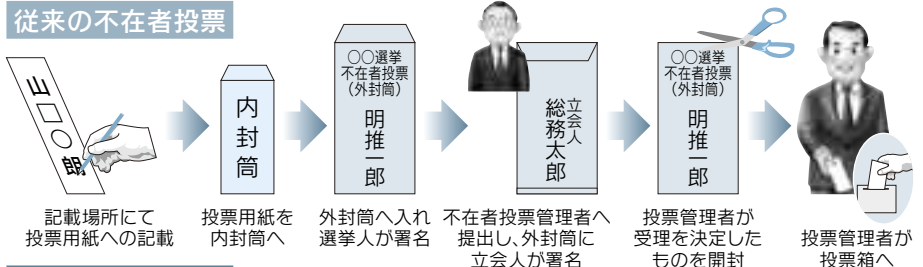
※手元に無い場合でも、選挙人名簿に登録されていれば投票できます

※印鑑は必要ありません

■その他

車イスご利用の方、代理投票が必要な方もご利用できます

### 従来の不在者投票



### 期日前投票





# 五城目町消防署からの お知らせ

## 救急搬送へのご理解とご協力をお願い



昨年高規格救急車が配備され、十二月から運用を開始しています。

救急救命士法が制定され、いかに傷病者の状態を悪化させず、良い状態で搬送できる

## JPTECインストラクターに認定されました



近年、交通手段の高速化とともに、重症外傷による死亡が増加しています。外傷死亡患者のうち四十割近くが予防できる外傷死亡であり、傷を負ってから治療を開始するまで一時間を超えるか否かで生死が分かれるとされています。

か、が求められてきました。町消防本部救急隊も医療職の一員としてその機能が発揮できるように、毎日、訓練、勉強に努めています。一一九番通報により出動し、現場到着時点で、救急隊員は観察、処置、状況の聞き取り、問診、病院連絡、受け入れ確認などを行うため、傷病者を救急車内に収容してもすぐには現場を出発できない場合があります。救急隊は、できるだけ早く病院に到着できるように努めていますし、これまでと比較しても、現場出発時間が遅れて

このことから、現場で適切な観察を行い、短時間で適切な医療機関へ運び、防ぎうる外傷死亡の撲滅を目指す教育を行う、JPTEC（ジーエーピーテック）協議会が平成十五年に発足しました。JPTECでは全国の医師や研究者、救急救命士など医療関係者が、外傷教育について研究を行っています。町消防署救急救助係の佐々木貴仁副士長が、全国で行われている数々の講習会に参加し、このたび同協議会のインストラクターに認定されました。今後はJPTECの指導者としての活躍が期待されます。

いるというようなことはありません。救急隊員一丸となり、傷病者を救う最初の担い手として、みなさんのご期待に添えるよう努力していきますので、ご理解とご協力をお願いします。また、心肺機能停止状態の傷病者は、そばにいます方が応急手当をすれば、助かる可能性が高まります。町消防本部では心肺蘇生法など救命講習を随時受け付け



ています。お気軽にご連絡ください。  
五城目町消防署救急救助係  
(08522・2028)



## 火災のときは「ウーウー・カンカン」 出動形態でサイレンを使い分けます

町消防署では七月一日から出動形態にあわせ消防車のサイレン音を使い分けします。  
●火災出動のとき  
サイレン音と鐘を使い「ウーウー・カンカン」  
●その他災害救助など  
火災以外の出動のとき  
これまでどおりのサイレン音「ウーウー」

## 前消防長 一ノ関信伽さん 全国消防長会特別 功労表彰を受賞



五月二十七日、全国消防長会総会において前消防長の一ノ関信伽さん（岡本一区・六十一歳）が特別功労表彰を受賞されました。  
一ノ関さんは昭和三十七年から町消防士を務められ、平成十年から六年間、町消防長を務められるなど四十二年間消防職団員指導育成、火災予防の普及に尽力されました。

# 春の大運動会

5月、6月  
町内各小学校で  
運動会が開催されました。



内川小学校



大川小学校



五城目小学校



杉沢小学校



馬場目小学校



がんばる人になる

(敬称略)

## 第15回春季東北マスタース水泳競技大会

- 自由形25メートル
- 第1位 遊佐 明
- 第2位 遊佐 綾子
- 自由形100メートル
- 第2位 福嶋 幸子
- 背泳ぎ25メートル
- 第1位 遊佐 明
- 第3位 遊佐 綾子

## 第8回わんぱく相撲秋田フロック大会

- 中央地区4年の部
- 優勝 石川与夢(五小)
- 第3位 伊藤 琢(五小)
- 宮城 祥(馬小)

## 中央地区5年の部

- 準優勝 渡部 陸(五小)
- 中央地区6年の部
- 準優勝 佐藤 健大(五小)

## 郡青少年陸上競技大会

- 5年女子100メートル
- 優勝 一関 祐華(馬小)
- 第3位 石井 千夏(馬小)
- 5年男子100メートル
- 優勝 石川 圭輔(馬小)
- 第2位 石川 文也(馬小)
- 第3位 伊藤 直人(馬小)

## 6年男子100メートル

- 優勝 大丸 健太(馬小)
- 第2位 草皆 早希(馬小)
- 共通女子800メートル
- 第2位 草皆 早希(馬小)

## 共通男子1000メートル

- 優勝 大丸 健太(馬小)
- 第2位 石井 圭輔(馬小)
- 第3位 石井 悠太郎(馬小)

## 共通女子400メートルリレー

- 優勝 馬場目入 栄少(草皆早希・黒澤理瑛・宮城春菜・伊藤知佳)
- 共通男子400メートルリレー
- 優勝 馬場目入 栄少(大丸 健太・石井 圭輔・石井 悠太郎・伊藤 直人)

## 第39回大曲中学校招待野球大会

- 準優勝 五一中野球部

## 第32回中学校選抜卓球選手権大会

- 女子 準優勝 五一中女子Aチーム
- 第3位 五一中女子Bチーム
- 男子 第3位 五一中男子Aチーム

## 町内対抗フラインドゴルフ大会

- 優勝 野田町内会
- 準優勝 雀籠町内会
- 第3位 大川一区町内会

## 県選手権水泳大会

- 男子自由形1500メートル
- 第3位 猿田 陽平(五一中)
- 全県中学校春季バレーボール能代大会
- 第3位 五一中女子

## 出生率向上を目指し 子育てを支援します

平成十五年度に五城目町で誕生した子どもは六十八人です。また、広報ごじょうめの最後のページに「町の人口と世帯」を毎月掲載していますが、人口は昨年と比較すると約百六十人減少しています。

役場福祉保健課ではこの状況を踏まえ、保護者の負担を軽くし、子どもを育てやすい環境に整え、出生率を向上させようと、いろいろな支援を行っています。

### ■第一子0歳児 在宅子育て支援費支給制度

五城目町に住み、住民登録をされている方が第一子を出産し、その子どもが住民登録され、保育園での保育を受けずに、在宅で満一歳の誕生日を迎えたとき、二万円を支給します。

### ■保育料の全額免除

五城目町に住み、住民登録をされている方の第一子0歳児または、第三子以降のお子さんが保育園に入園するときに、保育料を全額免除します。(第一子0歳児は誕生日まで)

### ■チャイルドシートの購入補助

五城目町に住み、住民登録をされている就学前の子どもが使用するチャイルドシートを購入した場合、購入費の二分の一(一万二千円を限度とする)を補助します。

### ■子育て支援センター 「わんぱーく」

気軽に子育てに関する相談ができるよう「もりやまこども園」に子育て支援センター「わんぱーく」を設置しています。

保育園のお友だちと遊ぶことができ、保育園開放も行っています。

●今月の「わんぱーく」

七月二十八日(水)

二十九日(木)

三十日(金)

・保育園開放(水遊びを行います。着替えを準備してください)

午前九時四十五分から午前十一時十五分まで

・育児相談(五城目保育園の保育士さんがお話を聞きます)

午前九時四十五分から午後四時まで

※「わんぱーく」ではいつでも電話相談を受け付けています。

もりやまこども園「わんぱーく」

(08522・3805)

※お問い合わせは役場福祉保健課

(08522・5128)まで



## 秋田県親子よい歯のコンクール 五十嵐夕佳さん 萌衣ちゃん 親子が優秀賞に

六月六日、県と歯科医師会の主催で「秋田県親子よい歯のコンクール」が開催されました。

このコンクールは、三歳児歯科健診で乳歯にむし歯がなかった子どもとむし歯のない保護者を対象に、むし歯予防がしっかりとできているか審査するもので、このたびは五十嵐夕佳さん、萌衣ちゃん親子(新畑町)が優秀賞を受賞しました。

五十嵐さん親子は五月十二日に行われた男鹿南秋地区コンクールで五城目町としては十年ぶりに南秋田郡代表として選出され県のコンクールに出場していました。



むし歯で痛い思いをするのは嫌だろうなと思い、小さい頃から子どもに口移して食べ物を与えることはしませんでした。毎日、夜眠る前には保健師さんの指導どおり、仕上げ磨きをしてあげています。

## 子育てサポーター 養成講習会を開催

県子育て支援課では、県内で行われる講習会や学習会の会場で保育を行ったり、子育てに関する事業に協力できる方を養成する「子育てサポーター養成講習会」を開催します。

将来子育て支援グループの設立を考えている方や子育てサポートを仕事にしてみたい方はぜひ参加してください。

▶日時 7月27日(火)、28日(水)、  
8月2日(月)、3日(火)、  
10日(火)、11日(水)の6日間(27時間)

▶会場 中央シルバーエリア

▶受講料 2,000円

※お申し込みは7月15日(木)まで県子育て支援課(☎860・1343)へ



# 早朝検診が 7月1日(木)から 始まります

受付時間  
午前5時15分から午前7時まで

健康づくり推進員を通じてお申し込みいただいた早朝検診が、7月1日(木)から始まります。検診はすべて無料です。年に1回は、自分の健康をチェックしましょう。

検診種別 (基本・胃がん・大腸がん・胸部・前立腺がん・C型肝炎・B型肝炎)

月日	場所	町内区分
7月1日(木)	内川児童館	浅見内1区~6区
7月2日(金)	内川地区総合生きがいセンター	湯ノ又1区~4区 小川口、小倉
7月6日(火)	森山地区公民館	岡本1区、野田、浦横町
7月7日(水)	ケアセンター五城目	田町、西野、谷地中
7月8日(木)	ケアセンター五城目	今町、川原町、一番町 米沢町、築地町、昭辰町
7月9日(金)	ケアセンター五城目	古川町、仲町、長町 雀館、紀久栄町
7月13日(火)	ケアセンター五城目	御蔵町、小池町、新町 岡本2区、中川原、東磯ノ目
7月14日(水)	ケアセンター五城目	畑町、西磯ノ目 上田町
7月15日(木)	ケアセンター五城目	新畑町、矢場崎 ななくら(仮称)
7月16日(金)	馬川交流センター	上・中・下高崎、館越 久保、館町
7月20日(火)	馬川交流センター	新里町、樋口、岩城町 上樋口上・下、広青苑
7月21日(水)	富津内地区公民館	広ヶ野、希望ヶ丘、 富田
7月22日(木)	富津内地区公民館	下山内、上山内 八田、黒土
7月23日(金)	中津又地区コミュニティセンター	台御蔵下、脇乙、高千 北北口、落合
7月27日(火)	杉沢地区コミュニティセンター	杉沢、合地、恋地 坊井地
7月28日(水)	中村公民館	中村、寺庭、水沢 平ノ下
7月29日(木)	馬場目地区ふれあいセンター	蓬内台、小野台、門前 町村、帝釈寺
7月30日(金)	大川農村環境改善センター	大川1区・3区・4区
8月3日(火)	大川農村環境改善センター	大川2区、下樋口 石崎、曙町

※お問い合わせ先  
ケアセンター五城目 ☎852・5180

## 「生活資金をお貸しします 離職者支援資金制度」

社会福祉協議会では、失業や廃業によって生活の維持が困難となった世帯に、生活資金をお貸ししています。

- ▼対象 生活を維持するために中心となつて働く人が失業・廃業し、生計の維持が困難であるが、その方が就労すれば生活の見通しが明らかな世帯。
- ▼限度額 月額二十万円(単身者の場合は十万円)
- ▼貸付期間 最高十二か月  
年三割
- ▼利率 貸付期間終了後六か月間無利子で据え置き。据え置き期間終了後七年以内に償還。

また、県社会福祉協議会では離職者支援資金制度の相談会を開催します。

▼日時 七月十六日(金) 午後一時から午後四時まで  
▼会場 男鹿市社会福祉協議会

※多額の預貯金や負債を持つ場合は対象になりません。  
※雇用保険の失業給付を受給している間は制度を利用できません。

※お問い合わせは町社会福祉協議会 ☎852・5192 まで

## 7月 ケアセンター五城目 お知らせカレンダー

健診	その他
27日 乳児健診 対象 平成15年9月、12月、平成16年3月生まれ 受付 12時45分~13時15分 場所 ケアセンター五城目	12日・26日 母子手帳交付・妊婦相談 受付 9時~15時 場所 ケアセンター五城目
30日 乳幼児健康相談 対象 平成15年6月生まれ 10時~10時30分 平成16年1月生まれ 13時~13時30分 場所 ケアセンター五城目	21日 離乳食作り教室 対象 離乳準備期、初期、中期の該当する方には個人通知します。先着順で受けつけます。 受付 10時~12時 場所 ケアセンター五城目
	22日 機能回復訓練 受付 13時~15時 場所 ケアセンター五城目

ケアセンター五城目  
●乳幼児、妊婦、健診、献血……………保健担当 ▶ ☎852・5180  
●訪問看護、ケアプラン……………訪問看護ステーション ▶ ☎852・5182

## 8月1日から新しい 国民健康保険高齢受給者証を ご利用ください

現在発行している国民健康保険高齢受給者証は、平成十六年七月三十一日で有効期限切れになります。新しい受給者証は七月下旬に郵送します。

お手元に届きましたら住所・氏名・資格などを確認ください。

※国保以外（社会保険、共済保険など）の方は、それぞれの保険者から「高齢受給者証」が交付されます。それぞれの保険者に確認してください。

※内容に変更などがある場合は、役場福祉保健課国民健康保険担当（☎852・5108）にお問い合わせください。

## 福祉医療費受給者証の 申請をお忘れなく

役場福祉保健課では、乳幼児、母子父子家庭の子ども、高齢身体障害者および重度心身障害（児）者の方が医療機関などにかかったときに、医療費が無料になる福祉医療費受給者証の申請を受け付けています。

### ▼福祉医療費受給の対象となる方

五城目町に住所があり、健康保険に加入していて、次のいずれかに該当する方。

▼未就学の乳幼児（小学校入学前・六歳到達後最初の年度末まで）

### ▼国民健康保険高齢受給者証

国民健康保険に加入し、平成十四年十月一日以降に七十歳になられた方に交付しています。

病院で保険証と一緒に提示すれば、三割の自己負担割合が一割または二割になります。



### ▼母子家庭と父子家庭の子ども（十八歳到達後最初の年度末まで）

▼高齢身体障害者（六十五歳以上の身体障害者福祉法による身体障害者手帳四〜六級をお持ちの方）

▼重度心身障害（児）者（身体障害者福祉法による身体障害者手帳一〜三級をお持ちの方、または療育手帳Aをお持ちの方）

※それぞれに所得の制限があります。詳しくは、役場福祉保健課福祉医療担当（☎852・5108）にお問い合わせください。

## 戦傷病者などの妻の方へ 特別給付金の請求は お済みですか

請求期限は平成16年9月30日(木)です。この期限を過ぎると、法律の規定により、特別給付金を受ける権利が消滅します。

### ▶対象

- 平成5年4月2日から平成13年4月1日までの間に、夫が戦傷病者として増加恩給などの障害給付を受け始めた方
- 上記の期間に、増加恩給などの障害給付を受給されている戦傷病者と婚姻された妻の方
- 平成8年5月に戦傷病者などの妻に対する特別給付金国債の最終償還を迎えた妻であって、戦傷病者である夫が平成5年4月1日から平成8年9月30日の間に公務傷病以外で死亡された方

※請求・お問い合わせは、町民生活課（☎852・5112）まで

## 申請すれば医療費の 自己負担限度額が 低くなります

国民健康保険高齢受給者証、または、老人医療受給者証を持ち、住民税非課税世帯の方は、申請すると医療費の自己負担限度額が低くなります。また、入院しているときの食事代も安くなります。

### ▼申請受け付け

七月二十六日(月)から

### ▼申請場所

役場福祉保健課

### ▼必要なもの

- ①国民健康保険高齢受給者証、または、老人医療受給者証
- ②保険証
- ③印鑑（認め印でも可）

※詳しくは、役場福祉保健課国保・老保担当（☎852・5108）にお問い合わせください。

七月二十六日(月)から

	割合	自己負担限度額(月額)		入院時の食事代(日額)
		外来(個人)	外来+入院(世帯)	
一般	1割	12,000円	40,200円	780円
低所得者	1割	8,000円	24,600円	650円
低所得者(特)	1割	8,000円	15,000円	300円



今年も夏がやってくる  
暑い夏がやってくる

# きゃどっこまつり2004 イベント参加者大募集!!

毎年恒例となりました夏のビッグイベント「きゃどっこまつり」が8月15日開催されます。今年は例年以上に楽しいイベントが盛りだくさん。きゃどっこまつり実行委員会では各イベントに参加して下さる方を募集します。

## ■事前に参加申し込みしてください

▶**ふるさと食のコーナー** ※お申し込みは7月23日まで  
だまこもちなど、ふるさとのおいしいものを販売できる方募集中。

▶**出店・物産コーナー** ※お申し込みは7月23日まで  
焼きそばやとうもろこし、焼き鳥などお祭りに欠かせないお店を出店できる方はぜひ参加してください。

▶**フリーマーケット**  
古着や雑貨、家庭用品など、使わなくなったものを売ってみませんか。

▶**きゃどっこ音頭パレード**  
みんなできゃどっこ音頭を踊りませんか。飛び入り参加大歓迎。チーム参加も大募集。

▶**きゃどっこのど自慢**  
高校生までを対象としたのど自慢大会です。参加は先着20人まで。

▶**光のパレード**  
きゃどっこまつりの締めくくりを仮装や演奏で楽しくパレードしませんか。参加は個人・グループを問いません。

## ■当日お申し込みください

▶**ストリートバスケット**  
小学生の部・中学生の部の2部門（1チーム4人まで登録）豪華賞品あり。

▶**フリースロー大会**  
小学生の部・中学生の部は1チーム3人のトーナメント戦、一般の部は、個人戦。

▶**さかなつかみどり**  
馬場目川特設いけすに放流したイワナ、マスなどを捕まえる。参加対象は小学生のみ。

▶**丸太早切競争**  
杉丸太をノコギリで切り落とすスピードを競います。参加者先着25人、表彰1位～5位まで。

※お問い合わせ・お申し込みはきゃどっこまつり実行委員会事務局（☎852・5222）まで



みんなできゃどっこまつりを盛り上げよう

第十五回◎森鈴旗争奪  
**秋田追分 全国大会**  
●平成十六年七月四日(日)  
●三回大会は、秋田県立馬場目川体育館  
●会場 広域五城目体育館

※お問い合わせは、秋田追分全国大会実行委員会事務局（☎852・5222）まで  
ぜひご来場ください。

この大会は、秋田追分の生みの親である故鳥井森鈴氏の正調秋田追分の正しい伝承と保存、そして普及を目的として行われているものです。

入場は無料です。旅行クーポン券やあきたこまち、朝市パックなどが当たる抽選会もあります。



第十五回  
**秋田追分 全国大会**  
開催日  
**7月4日(日)**

## 春の清掃登山

六月十二日、春の馬場目岳清掃登山が行われました。この登山は、郷土の最高峰・馬場目岳（標高一、〇二七・四メートル）の登山道清掃しながら、自然に親しむ豊かな心を育むことを目的に、出羽山岳会と五城目町が毎年開催しています。

前日雨が降ったことから天候が心配されましたが、町内のほか井川町、昭和町、秋田市から参加された四十三人の皆さんは馬場目岳山頂をめざし元気に出発。ゴミ袋を持ってめぐるんだ山道をゆつくり進み、山道の清掃を行いました。



じつくり楽しむ余裕も見られまし



天候もだんだん良くなり、最後の急な上り道「胸突き八丁」を慎重に登り切ると、青空が一面に広がる頂上に到着。約二時間半をかけて、参加者全員が無事に登頂を果たしました。清々しい汗をかき、登頂を果たした方からは「ゴミもな

## 内川卓球スポーツ少年団 女子団体で全県制覇 全国大会出場へ

六月十三日、秋田テルサで第二十二回全県卓球大会が開



催された。内川卓球スポーツ少年団が見事団体優勝を果たした。

内川スポーツはこれまで個人戦でも数々の大会に勝利してきましたが、昨年の同大会で準優勝とあと一歩のところ



チームの卓球会館を見事に打ち破り優勝を果たしました。優勝報告に役場を訪れた内川スポーツキャプテンの松橋真央さんは「初優勝だったのでとてもうれしいです。全国大会でもがんばります」と勝利の喜びと全国大会への意気込みを語ってくれました。

## 岡本二区親和会老人クラブの皆さん アルミ缶を回収し袋づめ作業

岡本二区親和会老人クラブ（会長・千田良次さん）の皆さんが、町内清掃で収集した



袋詰め作業を行いました。これは町老人クラブ連合会が行うアルミ缶回収事業の一環として行われたものです。町老人クラブ連合会では同

クラブの会員九人が千田良次さん宅に集合。これまで集めたアルミ缶を足で踏みつぶす作業を行いました。カランカランといくが転がる音が響く中、老人クラブの皆さんは集中して缶を踏み続け、ゴミ袋で約十袋あったアルミ缶は約一時間ほどで全て小さく潰され、米袋五袋分にまとめられました。同クラブ会長の千田さんは「アルミ缶回収はみんなの



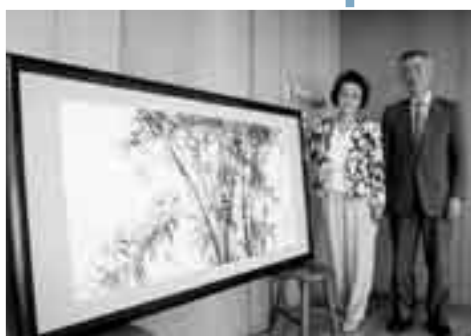
ためにもなるし、老人クラブとしてもみんなで集まって楽しく作業できる良い機会です。健康づくりに役立ちますし、今後も続けていけたらと考えています」と話してくれました。

## 第五回ふるさと大賞受賞者 白澤恵舟さんが 水墨画を寄贈

五月三十一日、第五回ふるさと大賞を受賞した白澤恵舟さんが、五城目役場を訪れ、水墨画を寄贈してくださいました。

寄贈してくださった水墨画は、一月二十四日に開催されたふるさと大賞受賞記念講演会で、白澤さん自身が描いた「風竹」という画で、竹がのびやかに繁る様子が描かれています。

白澤さんは「風竹」について「竹は中身が空であることから無欲をあらわします。風雪にさらされても無欲に真っ直ぐ繁る竹を描きました」と



語り、石井助役に画を渡しました。寄贈いただいた「風竹」は役場三階庁議室に展示していますので、ご覧になりたい方は役場総務課にお問い合わせください。



五百年の伝統と芸術・文化が見事に融合

## 市神祭と小さな街角芸術展が 開催されました

六月二十日、朝市通りで市神祭が開催されました。当日はあいにく天候が悪く、お客さんの出足は好調とは言えませんでした。毎年市神祭を楽しみにしているというお客さんが多数集まりました。

会場の店先には旬の山菜「ミズ」が多く見られ、ミズたたきの実演会や桶そば販売、土崎湊離子（ばやし）の演奏やおみこしなどいろいろなイベントが行われ、朝市通りは見物客・買い物客でにぎわいました。

ど十一店舗を利用して芸術作品を展示する「小さな街角芸術展」（代表秋山三男さん）が行われました。

今年で三回目の開催となった芸術展には男鹿南秋の作家から絵画や陶芸、写真、生け花などが出品されたほか、土蔵の壁など漆喰（しっくい）の壁面に鏝（こて）を使って描く鏝絵（こてえ）も披露され、来場客を魅了していました。

芸術展を訪れた方からは「毎年開催を楽しみにしています。この時期になると（五



城目の芸術展は）いつ開催されるか気になるんです」「観光と買い物しながら気軽に芸術を楽しめるのでうれしい。来年もぜひ見に来ます」との同芸術展に期待する感想が多く聞かれ、芸術文化の香りあふれる五城目町を町内外に大きく宣伝する芸術展となりました。

## 今年四十八人が入学 率浦大学、大学院、自主大学入学式

親しみ合い、新しい知識を習得し、健康で楽しい暮らしと積極的なまちづくりに参加できる高齢者となることをめざす率浦（いそら）大学の入学式が、五月三十一日、町民センターで行われました。今年六十二歳から八十四歳までの四十八人が率浦大学・大学院、自主大学に入学式では、同大学総長の佐藤町長が「皆さんの入学を心からお祝いいたします。率浦大

学で学び、さらに地域の皆さんに広げて町発展の一助としていただきたい」とあいさつし、その後、椎名チサさんが入学生を代表し誓いのことを述べました。

今後、入学生は一年間「集いと学び、新しい自分を発見しよう」をテーマに、全町盆踊り大会への参加やそば作り体験、町の伝統文化に関する学習などを行っていきます。

## 全県高校総体空手道競技 個人組み手で優勝 中嶋彰平さんインターハイ出場へ

六月五日から七日まで能代市民体育館で開催された全県高等学校総合体育大会空手道競技で、中嶋彰平さん（矢場崎・金足農業高校三年）が個人組み手で優勝、個人形で準優勝を果たし全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場の切符を手に入れました。

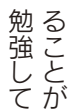


中嶋さんは小学二年生のときに井川町スポーツ少年団空手道に入団。現在は金足農業高校空手道部で練習しながら、週三回、部活動終了後に井川町の藤田師範の道場で練習を重ねています。

インターハイ出場について中嶋さんは「出場は大きな目標を重ねています。

標でした。幼い頃から練習を重ねてきた自信を胸に、一戦一戦大事にしながら、一つでも多く勝利できるように頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。

中嶋さんが出場するインターハイ空手道競技は八月六日から八日まで島根県東雲町で開催されます。



椎名チサさん 大学でたくさんの方にお会いできることがうれしい。楽しんで勉強して行きたいです。



貝田金市さん 昨年は大学生として参加しましたが、仲間や先輩がとても良くしてくれるので楽しく勉強できました。今年は昨年以上に意義ある大学生活を送りたいと思います。



# 早起きして森山に登りませんか 早朝森山登山2004

五城目地区公民館では町のシンボルである森山の山頂をめざし健康増進と郷土愛を育むことを目的に、早朝森山登山を行います。

- ▶ **日時** 7月25日(日)
- ▶ **集合** 午前3時30分まで五城目小学校バス停前に集合
- ▶ **出発** 午前3時30分
- ▶ **準備** 運動靴・タオルなど登山にふさわしい服装、子どもはラジオ体操カード



頂上に着き次第、ラジオ体操・森山登山記念頂上ウルトラクイズを行います。



※雨天の場合は中止です。登山不可能となった場合は前日の夕方に広報車でお知らせします。また、判断がつかない場合は、当日の午前3時10分から20分まで、次のところにお電話ください。

公民館長 今村恒夫 (☎090・2843・0459)  
主 事 渡部隆彦 (☎090・4315・1034)  
主 事 補 金野和弘 (☎090・1498・9089)

※申し込み、お問い合わせは五城目地区公民館 (☎852・4411) までお願いします。



## ルールを守って たのしい暮らし

—— 五 城 目 警 察 署 ——

### 不審な訪問者や電話にご用心！

警察官や社会保険事務所の職員などを装い、自宅を訪問したり、電話やハガキなどで請求を行う不審な行為が後を絶ちません。また、携帯電話を利用した不審な行為が多発しています。

#### ●不審な訪問や電話があったら 五城目警察署にすぐ連絡！

警察や社会保険事務所は電話で指定口座に現金の振り込みを依頼したり、手続きのためにと言って現金を徴収することはありません。

また、電話で個人情報を聞き出すこともありません。

●不審な電話や訪問があったらすぐに五城目警察署に連絡しましょう。

#### ●「着信履歴」にご注意！

携帯電話が1回鳴って切れたあと、見覚えがない着信履歴が残り、かけ直すと、出会い系サービスなどにつながってしまう勧誘が発生しています。

●知らない着信があったら、簡単に電話しないでください。

●誤って電話してしまい、案内が流

れてしまったら、すぐに電話を切ってください。

●高額請求があった場合は、五城目警察署に相談してください。

#### ●架空の請求は無視しよう！

架空団体名を名乗り、アダルトサイト利用料金など覚えのない支払いを請求される事件が増えています。

●身に覚えのない請求の郵便物や電報は受取拒否、廃棄、無視してください。

●電話があった場合は、毅然とした態度で拒否してください。

●相手に連絡すると、それを足がかりにして脅されたり、しつこく請求を受けます。絶対に連絡をとらないでください。

●相手は「取り立てに行く」と脅しますが、取り立てに来ることはあ



りません。脅されたらすぐに五城目警察署に連絡してください。

五城目警察署  
☎852・4100

「ふるさと」と自分

松田 浩一

僕が五城目町を離れて六年目になりました。この五年間、いろいろな人と出会い、いろいろな経験をすることができました。とてもいい経験だったと思います。でも今の自分があるのは、五城目町で育った十八年間があったからだと思います。

小学校では、少人数の内川小学校に通い、中学、高校と人が増えて、いろいろな出会いがありました。友だちの数が増えて、今でも、昔からの友だちとは、秋田へ帰ったときは、会って、食事をしたり話をしたりしています。「夏帰ってまた会おうな」なかでも一番なのが、バレーボールをはじめたときの友だちです。なかなか会えませんが、一緒にやっていたときの思い出は一生忘れません。

そして、社会人として東京へ来て、今考えれば自分は田舎つべ丸出しのちっぽけな者でした。一生懸命馴染んでいこうとしていました。でも、仕事場の先輩にも支えられて、今はふるさとが五城目で本当に良かったと思っています。言葉とか少し違いますが、同じ日本で、住むところが違うだけです。幾度か帰りたいと思うときがありました。東京で今自分がしたい

ことを考えて、精一杯やりたいと思います。

その考える時間を両親がくれました。東京に行かせてくれた親にとても感謝しています。自分のことは自分でやらなければならぬ。それがどれだけ大変か、今しみじみわかりました。今までは自分の力で何とかしなければならぬ。毎日どうやったらいいか考えるようになりました。

六年目にはいり、ふるさと五城目会の皆さんとも親しくなり、この前は群馬に行つて楽しく過ごせました。桜祭りのときも大変盛り上がりしました。五城目会の皆さんのように、自分も五城目町で生まれ育つたことを誇りに、そして、湖東町に変わってしまいましたが、いつまでも忘れることはないでしょう。



写真中央が松田さん

ごじょうめの  
文芸



「川柳」

身の丈を知ってる影が付いて来る

東磯ノ目 齊藤 一輪

心配の種は涙の色になる

矢場崎 鈴木さくら

サカズキに桜ひとひら花と酔う

東磯ノ目 柳原 紅

城の町ここは北国百合の里

希望ヶ丘 佐々木敏子

「俳句」

汗ばみて着替えに夢中麻痺の母

樋口 猿田ひろ子

晴れた日の続いていたりサングラス

新畑町 近江 三保

「短歌」

いちよう樹の梢に一羽止まりいる

長町 渡辺 悦也

菜畑に黄色い風が吹きわたり

蝶かと紛う乙女らの群れ

畑町 伊藤 義成

白衣身に数珠をすりつつ南無を唱え

巡る四国路八十八寺

浅見内 松橋正之助

継ぐ手なく山畑の道に山吹の

黄色の花の風に揺れ咲く

岡本 大石 政子

不起訴に  
納得できなかったら  
検察審査会に  
申し立て

事件の被疑者を起訴するかどうか(裁判所に裁判を提起するかどうか)の決定は検察官に任されています。しかし、もし、検察官が判断を間違えたり不公平な決定をしたらどうなるでしょう。

検察審査会では、一般の方から選ばれた十一人(検察審査員)が検察官の不起訴決定が正しいかどうかをチェックします。審査会で「さうに捜査すべき」「起訴をすべき」という議決があれば、その議決を参考に起訴すべきかどうかをもう一度検討することになります。

不起訴処分に不服があったり、納得できなかったら、検察審査会に申し立てをしてみましょう。

※審査の申し立てや相談は無料です。秋田検察審査会(☎824・3121)までお気軽にお問い合わせください。



創業・経営改革セミナー「アントレプレナー Do it」を開催します。

セミナーでは、実践に役立つ経営戦略や法務、資金調達、人材活用に関する知識などを各界の著名人が衛星通信でわかりやすく説明します。ぜひご参加ください。

- ▶ 内 容 全34回のセミナー  
第1回は「新しいビジネスへの挑戦」(アメリカンファミリー生命保険会社創業者 大竹美喜)
- ▶ 開 講 日 7月1日～平成17年3月24日の毎週木曜日
- ▶ 時 間 18時30分～20時00分
- ▶ 会 場 雇用・能力開発機構秋田センター(秋田市中通明治安田生命秋田ビル6階)
- ▶ 申し込み 雇用・能力開発機構秋田センターに電話でお申し込みください

### 無料調停相談会を開催します

問い合わせ先：秋田簡易裁判所内  
秋田調停協会(☎824-3121)

家庭内の問題や金銭トラブル、交通事故や土地・建物のもめごとで示談がまとまらず、お悩みの方はいませんか。

これらの紛争を話し合いで解決したいと考えている方は、調停委員と裁判官とともに裁判所で当事者同士で話し合いを行う「調停制度」をご利用ください。

また、秋田調停協会ではそれぞれのもめごとをどのように解決したらよいかを調停委員がアドバイスする「無料調停相談会」を開催します。

- ▶ 日 時 7月16日(金)  
10時00分～15時00分
- ▶ 場 所 秋田簡易裁判所(秋田市山王7丁目1-1)

### 「家庭で役立つパソコン活用教室」を開催!

問い合わせ先  
中央公民館(☎852-4411)

インターネットやメール、またエクセルを利用した住所録・家計簿など、家庭で役立つパソコンの活用教室を開催します。なお、参加された方には住所録・家計簿のフリーソフト(無料ソフト)を差し上げます。

- ▶ 平日中コース(2日間)  
・7月28日(水)・29日(木)  
9時30分～正午

- ▶ 土日中コース  
・7月25日(日) 9時30分～15時30分  
・7月31日(土) 9時30分～15時30分  
※各コースとも定員は6人。町民センター2階の「パソコン教室」で開催します。7月7日(水)よりお申し込みを受け付けます。

### 国際教養大学を見学してみませんか

問い合わせ先  
国際教養大学事務局(☎886-5900)

国際教養大学では、構内の見学や模擬授業が体験できる「国際教養大学キャンパスツアー」を行います。

進学を検討している高校生や保護者の方、また国際教養大学に関心をお持ちの方は、ぜひ参加してください。

- ▶ 日 時 7月18日(日)  
11時～15時30分
- ▶ 場 所 国際教養大学キャンパス(雄和町)

- ▶ 申し込み 国際教養大学事務局にお問い合わせください

### 「森山荘」に寄せられた善意

問い合わせ先  
養護老人ホーム森山荘(☎852-3263)

- ・5月17日 理容奉仕  
小杉田啓一さん
- ・5月19日 紙芝居  
門間郁子さん
- ・5月25日 五城目神明社祭典献米  
代表 渡辺靖彦
- ・5月26日 歌、民謡  
つむぎひばりの会8人、民謡・宮田紀義さん、尺八・金野金五郎さん

### 社会福祉協議会へ寄せられた善意

問い合わせ先  
町社会福祉協議会(☎852-5192)

- ▶ 香典返しに代えて  
・5月24日 5万円 宮田亮樹さん  
小池町(亡き父亮一さん)
- ・5月24日 3万円 金野英明さん  
雀 館(亡き父真一さん)
- ・5月31日 3万円 沢田石鉄美さん  
湯ノ又(亡き母カ子ノさん)
- ・5月31日 3万円 伊藤忠右エ門さん  
脇 乙(亡き母ツナさん)
- ・6月9日 1万円 北嶋幸雄さん  
築地町(亡き妻エイ子さん)
- ・6月10日 3万円 伊藤秀男さん  
八 田(亡き母キ又さん)
- ・6月14日 2万円 畠山淳志さん  
畑 町(亡き父芳雄さん)

サン サンデー  
毎月第3日曜日は、  
あきた 家族ふれあい  
**サンサンデー**  
家庭・学校・地域の  
きずなを深め、  
すこやかな  
青少年を  
育てましょう

お問い合わせ先  
県民文化政策課(☎018-860-1552)  
役場福祉保健課(☎852-5128)



7月は  
**「社会を明るくする運動」**  
強調月間です。

主唱：法務省 統一標語：「ふれあいと 対話が楽しく 明るい社会」  
すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会をめざす全国的な運動です。

重点目標 『少年の非行防止』

五城目地区 7/12(月) AM10:00 朝市キャンペーン  
推進計画 7/27(火) AM10:25～10:55 ABS秋田放送で広報



# INFORMATION

知ってて便利 町からのお知らせ

## 調理師試験が行われます

問い合わせ先  
秋田中央保健所(☎855-5170)

調理師と名乗って仕事をするには、調理の業務に従事できる者として都道府県知事の調理師免許を受けなければなりません。

### ●平成16年度調理師試験

- ▶日時 8月25日(水)  
13時30分～15時30分
- ▶会場 秋田県庁
- ▶受験資格 中学校卒業または同等以上の学歴を有する方で、給食施設や飲食店などで2年以上調理の業務に従事した方
- ▶申し込み 秋田中央保健所(昭和町)に準備している受験願書に必要事項を記入し、7月9日(金)までお申し込みください

## 危険物取扱者保安講習会が行われます

問い合わせ先  
県危険物安全協会連合会(☎836-3236)

危険物取扱者は、保安講習を受けてから3年以内に再度講習を受講しなければなりません。

平成16年度は次の日程で保安講習会が行われます。

- ▶給油取扱所講習
  - ・8月25日(水)、9月8日(水)、16日(木)  
9時00分～12時00分  
(秋田市文化会館)
- ▶一般講習
  - ・8月25日(水)  
9月8日(水)、16日(木)、27日(月)  
13時30分～16時30分  
(秋田市文化会館)
- ▶受講料 4,700円

### ▶申し込み

町消防署(☎852-2028)に準備している申し込み書類に必要事項を記入して、8月6日(金)までお申し込みください。

## 自衛官採用試験が行われます

問い合わせ先：自衛隊秋田地方連絡部  
秋田募集案内所(☎864-4929)

平成16年度の自衛官採用試験が行われます。

採用区分	試験日	受け付け	受験資格
2等陸海空士(男)	9/16	8/2～ 9/8	18歳～ 27歳未満
2等陸海空士(女)	9/26・27		
曹候補士	1次	9/18	18歳～ 24歳未満
一般曹候補学生	1次		
航空学生	1次	9/23	
防衛大学校	推薦 9/25・26 一般 11/13・14	推薦 9/6～8 一般 9/10～10/1	高卒(見込み) ～21歳未満
防衛医科大学校	1次 11/6・7	9/10～ 10/1	高卒(見込み) ～24歳未満
看護学生	1次 10/17		中卒(見込み) ～17歳未満
自衛隊生徒	1次 H17/1/15	H17/1/11	

## 暑い夏はプールに行こう！ 屋内温水プールからのお知らせ

問い合わせ先  
屋内温水プール(☎852-4411)

より多くの方にご利用いただけるよう、7月23日(金)から8月22日(日)まで屋内温水プールの開館時間を変更します。

- ▶火・土・日曜日  
午前の部 10時～12時  
午後の部 13時～16時30分
- ▶水・木・金曜日

午後の部 14時～20時

## お年寄りとご家族の方々の悩みごとをご相談ください

問い合わせ先  
県高齢者総合相談センター(☎829-4165)

県高齢者総合相談センターでは、お年寄りとご家族の悩みごとをおうかがいしています。お気軽にご相談ください。また、次の日程で相談会を開催します。弁護士さんが無料で相談を聞いてくれます。

- ▶日時 7月23日(金)  
13時00分～15時00分
- ▶会場 ケアセンター五城目

## 公営住宅の入居者を募集中

問い合わせ先  
役場建設課(☎852-5252)

- ▶申し込み資格
    - ・月額所得20万円以下の方
    - ・同居家族がいて住宅に困窮されている方  
(新広ヶ野団地)
  - ▶住宅 1号(木造平屋建て・築13年)
  - ▶場所 高崎字広ヶ野148
  - ▶家賃月額 12,700円～21,000円
  - ▶敷金 家賃の3か月分
  - ▶入居予定日 8月1日(日)
  - ▶募集期間 7月15日(木)まで
- ※申込用紙は役場2階の建設課に準備しています。

## 創業や経営戦略の最新情報を提供 創業・経営改革セミナー

問い合わせ先：雇用・能力開発機構  
秋田センター(☎836-3184)

雇用・能力開発機構秋田センターでは、創業や新分野進出に必要な知識などに関する最新情報を提供する

## 環八郎湖・流域の未来フォーラムPart2 ～八郎湖の現状と課題 in 秋田県立大学～

平成16年7月10日(土)

現地視察(バスツアー)

五城目役場(正面玄関) 9:10集合

問い合わせ：秋田地域振興局(☎860・3313)



1ヵ月分/5,000円

五城目 中央ドラッグ

夏バテ  
・体臭  
・口臭予防  
・ストレス  
不足していませんか？  
体の緑



五城目町朝市通り ☎852-3217

仕分けする あなたのゴミに 未来あり

2004年 8月ゴミ日程表

燃えるゴミ	収集町内	収集日	曜日
	新里町・広ヶ野・希望ヶ丘・田町・上田町・今町 御蔵町・小池町・川原町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・仲町・長町・築地町・畑町・新畑町・米沢町	2日・5日・9日 12日・16日・19日 23日・26日・30日	月・木
	雀館・昭辰町・館町・中川原・岩城町・樋口 矢場崎・西磯ノ目・東磯ノ目・森山地区 馬川地区・ななくら（仮称）	3日・6日・10日 13日・17日・20日 24日・27日・31日	火・金
	富津内地区・馬場目地区・大川地区全域・内川地区	4日・7日・11日 14日・18日・21日 25日・28日	水・土

●ペットボトルはラベルとキャップをはずし、中  
を水で洗ってから出して下さい。  
●ゴミ袋には名前を必ず書いて出してください。  
●生ゴミの水切りを徹底してください。  
※収集に関するお問い合わせは、**町民生活課（☎852・5112）**までお願いします。

資源 燃えない ゴミ	収集町内	ガラス類他	金属類他
		空きビン類	空きカン類
	馬場目地区・富津内地区・内川地区	9日（月）	23日（月）
	新里町・広ヶ野・希望ヶ丘・森山地区 大川（1区～4区以外の地区）・馬川地区	10日（火）	24日（火）
	今町・御蔵町・小池町・川原町・仲町・長町 米沢町・雀館・昭辰町・大川（1区～4区）	11日（水）	25日（水）
	築地町・畑町・新畑町・東磯ノ目 西磯ノ目・矢場崎・ななくら（仮称）	12日（木）	26日（木）
田町・上田町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町	13日（金）	27日（金）	

ペットボトルの収集日は、4月から毎月第1・第3水曜日の月2回になりました。



資源 ペットボトル	4日・18日（全町）	
古紙類 新聞・雑誌類 ・段ボール・紙パック	五城目地区・馬川地区	14日（土）
	馬場目地区・内川地区・富津内地区・大川地区・森山地区	28日（土）

工事の入札情報を公表

役場では、公平性・透明性の確保や競争性の向上を図るため、平成十五年度から次のように公共工事の入札を行っています。

●予定価格と最低制限価格の事前公表

予定価格一三〇万円を越える工事などについて、予定価格と最低制限価格を試行的に事前公表しています。（平成十五年五月一日以降の入札から）

●現場説明

原則として、すべての工事について現場説明は行いません。

●入札参加者

原則として、すべての工事について入札参加業者名や業者数を事前（入札前）に公開しません。

●公共工事の発注見通しの公表

法律に基づき、入札や契約の情報を公表しています。

●対象工事：原則として予定価格二五〇万円以上

●公表事項：工事の概要、入札の方法、入札の時期

●公表時期：毎年度二回（四月・十月）

●公表方法：総務課において閲覧

●入札・契約情報の公表

●公表対象：原則として指名審査会に付議された工事など

●公表事項：工事名、指名業者名、落札業者名、落札金額など

●公表時期：入札執行後

●公表方法：総務課において閲覧

※お問い合わせは、役場総務課

（☎852・5112）まで

# 7月町民カレンダー

※このページに載せる楽しい写真をお待ちしています。「広報ごじょうめ」担当まで

日	月	火	水	木	金	土
27		29	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防救助技術指導会秋田県大会(県消防学校・9:00~)</li> <li>○森林資料館五城目城特別展「草木染め作品展」(9月30日まで)</li> <li>○朝市CM16:00(秋田朝日放送)</li> </ul>	2	
4	5	6		8	9	10
<ul style="list-style-type: none"> <li>○秋田追分全国大会(広域五城目体育館・9:00~)</li> </ul>	○朝市CM13:20(秋田朝日放送)	○朝市CM10:00(秋田朝日放送)		○金婚式(ガーデン松竹・10:30~)	○県消防大会(男鹿市・12:00~)	○馬場目・内川保育園夏まつり(園庭・16:00~)
11	12	13	14	15	16	
○参議院議員通常選挙投票日	○朝市CM19:00(秋田朝日放送)		○心配ごと相談(ケアセンター五城目・10:00~12:00)	○消防救助技術指導会東北大会(県消防学校・9:00~)	○朝市CM6:00(秋田朝日放送)	
18	19		21	22	23	24
○町内対抗ソフトボール大会(雀館運動公園他・8:00~)	○海の日		○朝市CM17:00(秋田朝日放送)			○大川保育園夏まつり(園庭・16:00~)
25		27	28		30	31
<ul style="list-style-type: none"> <li>○早朝森山登山(3:30~)</li> <li>○男鹿南秋支部消防操法大会(飯田川町・9:00~)</li> </ul>		○朝市CM14:00(秋田朝日放送)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心配ごと相談(ケアセンター五城目・10:00~12:00)</li> <li>○朝市CM16:00(秋田朝日放送)</li> </ul>			

**スズキ車限定 7月31日(土)まで**  
**愛車無料点検実施中!!**

佐藤自動車では、皆様により快適にお車をお使いいただけますよう、スズキ車に限り期間中無料点検を行っております。お気軽にご来店ください。



**ET-4A**  
4輪タイプ

メーカー希望小売価格

**34.8万円**

※スズキセニアカーには消費税がかりません

安心でスタイリッシュ。ほんとうに頼もしいパートナー。

**(有) 佐藤自動車 整備工場**

代表 佐藤 義行

南秋田郡五城目町一番町 ☎ (018) 852-2059

なつかしの

ごじょうめのわらひだ

作: 大石清美 No.100

『わらひだ』とは五城目弁で、『子どもたち』の意味です



●のびんになってきたつがに、川遊びの手でもかきかたも鬼て... (transcription of the main text in the thought bubble)



### おくやみ申し上げます

小林 禮吉さん	85歳	5月2日	古川町
原田 キミさん	79歳	5月4日	岡本2区
伊藤 キヌさん	89歳	5月6日	脇乙
畠山 芳雄さん	60歳	5月7日	畑町
澤田石 良治さん	71歳	5月10日	湯ノ又4区
伊藤 ツナさん	88歳	5月14日	脇乙
澤田石 カ子ノさん	89歳	5月17日	湯ノ又4区
八柳 カネノさん	87歳	5月21日	大川1区
伊藤 和香さん	36歳	5月22日	町村
鷲谷 隆さん	73歳	5月23日	西磯ノ目
畠山 正太郎さん	91歳	5月27日	広ヶ野
伊藤 光也さん	69歳	5月28日	町村
加藤 義光さん	64歳	5月29日	富田

※「おくやみ・おたんじょうびコーナー」への掲載を希望しない方は、届け出の際にお知らせください。

おたんじょうおめでとうございます



金子 想太ちゃん	5月14日	俊夫・公子	西野
金子 亜衣ちゃん	5月14日	俊夫・公子	西野

### 町の人口と世帯 (平成16年5月末現在)

	前月比	前年比
人口	12,337 (-10)	(-154)
(男)	5,837 (-3)	(-80)
(女)	6,500 (-7)	(-74)
世帯	4,124 (+1)	(+7)

編集後記... (transcription of the editorial note text)